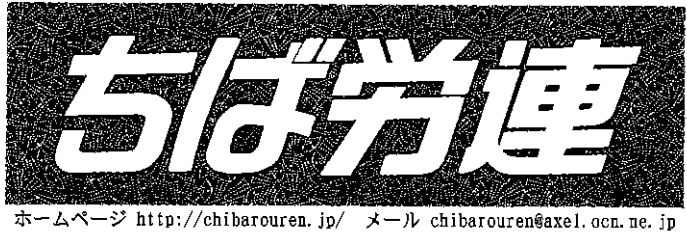


春闘大宣伝

日時：2月20日(土)14時～
場所：千葉駅クリスタルドーム前



第 290 号 URL 版 2016 年 1 月 31 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

職場と地域から共同の輪を広げよう

国民が主人公の政治に

やりがいのある職場にしていきたい

千葉健生病院を訪ねて

安倍政権は社会保障をかつてないほどに削減し、「人権としての社会保障」を「自立・自助」へと変質させようとしています。一方で昨年9月19日に強行成立させた戦争法(安保関連法)に伴い、来年度の軍事予算は過去最高の金額を計上しています。医療制度の縮小、国民皆保険制度の解体、国民の負担増を許さず、職場で奮闘している千葉県医労連勤医労健生病院分会を訪ねました。

2016年度の診療報酬が1・03%マイナスになると政府の予算編成の方針として決定されたことが明らかになりました。ただでさえ医療・介護・福祉労働者の状況は、2015年4月の介護報酬大幅引き下げの影響が深刻です。

患者さんのニーズに応えきれない実態

分会長の村田千津子さんは「毎年の医療制度が変わり、そのことへの負担が現場に表れます。診療報酬が下げられると病院の経営状況が苦しくなります。現在は医師・看護師不足がとても深刻です。そのことで



お互いの情報を共有して様々な活動に取り組む
健生病院分会のみなさん

患者さんのニーズに応えきれなくなっています。例えば高齢者の方が増えていて介護のニーズが増えていのに、それに応えきれない。自分の理想はあっても、それを実践できない状況です。そのことが原

因で離職していく人も大勢います。いかに自分たちがおかれた環境で患者さんに寄り添っていくかを重視し、やりがいのある職場にしていきたいです」と話しました。

人材の確保には賃上げが必要

医療労働者は他産業労働者と平均賃金比較で月 1 万円弱の差があり、単産独自の春闘要求として、月 4 万円以上を要求しています。

分会書記長の原英明さんは「他産業との賃金の差が大きいと、なかなか人が集まりません。現場では人手不足が本当に深刻です。人材確保には賃上げが絶対に必要です。春闘アンケートでは生活が苦しい、賃金を上げてほしいという要求がほとんどです。賃金が低いと離職につながり、人が少ないと一人にかかる負担が大きくなります。それが原因で離職していく人もいるので負のスパイラルになってしまいます。より良い医療を継続していくためにも、何としても今春闘で大幅賃上げを勝ち取る必要があります。同時に国の社会保障制度も上げていく運動もしていきます」と話しました。

病院全体で戦争反対アピール

ひとたび戦争が起きれば、医療関係者が戦場に駆り出されるのは避けられません。先の大戦で駆り出された従軍看護婦は、判明しているだけでも 3 万人を超え、多大な犠牲者を出しました。医労連の「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」というスローガンのもと、健生病院分会のみなさんも積極的に 2000 万署名に取り組んでいます。

分会書記次長の古澤祐子さんは「現在、健生病院友の会のメンバーと、健生病院グループ、健生病院分会の 3 団体共同で、毎月 19 日に大型ショッピングセンターや駅前などで署名を集めています。健生病院分会として 1 万 2 千筆の目標を立てています。かつてない目標筆数なので、健生病院全体に戦争は絶対反対なんだという意識づけをしています。病院の入り口にポスターを貼ったりするだけでなく、職員全員で戦争法反対のバッジをつけてアピールしています。戦争する国づくりを許さず、社会保障拡充のためにも、何としても廃止させたいです」と話しました。

お互いがお互いの情報を共有しあい、大変な状況でも団結して組合員拡大にも積極的に取り組む健生病院のみなさんでした。



大型ショッピングセンター前で
2000万署名に取り組む

戦争法廃止の政府を作ろう

松本悟議長新年あいさつ

明けましておめでとうございます。今年は勝ちにいく年です。

運動の環は、人間の尊厳を守るため、戦争法廃止の政府を作ることです。そのための試金石は、団結と統一です。われわれの先輩は、1947年「2. 1ゼネスト」を構え、ゼネストは潰されましたが、官公労の最低賃金は月額600円を倍加させ、労働戦線統一も勝ち取りました。

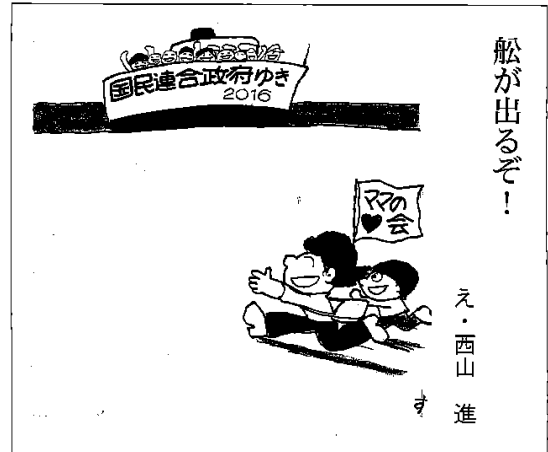
労働者が統一してたたかうと、賃上げなどの諸要求が抜本的に改善されます。また、労働戦線が統一すると、政治戦線も統一され、国民が主人公の新しい政治に向かいます。だから権力は、戦前も戦後も労働戦線と政治戦線を分断して支配してきました。

いま、全労連と連合が関わっている総掛かり実行委員会が2000万署名を呼びかけ、野党共闘を後押しする市民連合も発足しました。この統一戦線の動きの中で潮目が変わり、相次ぐ諸要求前進が始まっています。

この動きは、市民革命の始まりです。私たちが全力でたたかっていくということを申し上げ挨拶とさせていただきます。

波濤

正月気分が残る 1 月 6 日、北朝鮮が水爆実験を行ったと発表した。隣国の住民としては、心穏やかではない▼こんな時は、日本国憲法前文を読むと落ち着く。特に「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。」のくだりである▼国同士の対応は、国連安保理等での協議によって合意が形成されていくのが、国際社会のルールというものだろう▼ただ国同士の対応にお任せするのではなく、一日本国民として、平和憲法の理念は、国際社会で通用するスタンダードだと認識し、その軸がぶれないことが大切だと考える。



【2面】

歴史的な闘いを展開しよう

第 63 回千葉労連評議員会

千葉労連は第 63 回評議員会を 1 月 9 日に自治体福祉センターで開催しました。

冒頭、松本議長より新年のあいさつと、様々な課題をあらゆる団体と一点共同でたたかう決意が述べられました。

本原事務局長からの春闘方針案では「STOP 暴走政治、戦争法廃止！壊すな憲法 暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化」をスローガンに「政治を国民の手で動かす歴史的なたたかいを展開し 16 春闘で勝利しよう」と提案がありました。

12 人の評議員が発言

★自治労連「公務員の地域手当による賃金格差の広がり」と公務の民営化がすすむ問題点について」★千葉土建「2 年連続の組織増勢、戦争法廃案・廃止宣伝に延べ 1000 人を超える仲間を結集させた経験報告」★千葉県国公「賃下げ違憲訴訟の報告と要請ハガキ、署名の協力の訴え。国家公務員と憲法改悪の問題点について」★県医労連「医療、介護労働者の賃金格差と 4 万円要求。診療報酬の改悪、介護労働者不足で処遇改善が必要」★全労連・全国一般「市川市でゴミ収集業務の委託料の増額を勝ちとり、月 2 万円の賃上げ実現の報告」★郵政産業ユニオン「非正規労働者の雇い止め撤回訴訟の勝利報告」★私教連「都賀の幼稚園の争議支援とカンパの訴え」★千葉労連ユニオン「毎年 1000 件を超える労働相談の分析について」★全労連・全国一般「昭和ゴム、JMIU、明治乳業など色んな争議をお互いに理解し支援する体制を発展させたい」★千葉労連女性部「パート、アルバイトの組織化のとりくみの報告」★松戸労連「第 9 回労働生活健康なんでも相談会を開催。過去最高 53 件の相談が寄せられた。松戸版総がかり実行委員会」★船橋労連「農民連や民商などと一層の共同を強め、社会的賃金闘争を総がかりで底上げを図りたい」など。

方針案は中間決算、千葉労連規定・規則の一部改訂とともに満場一致で可決されました。

評議員会後の旗開きは 119 人が参加し、ユニオンニューフィル千葉の演奏で幕あけ。全労連の野



団結ガンバロウで意思統一

村副議長、千葉県商工労働部雇用労働課小高課長、日本共産党千葉県委員会浮揚委員長、斉藤和子衆議院議員など多くの来賓の方が参加。千葉労連寺田副議長の閉会あいさつで春闘勝利、立憲主義を取り戻す1年にしようと確認しあいました。

仕事と仲間への思い込め職場復帰

郵政ユニオン吉村解雇闘争勝利

郵政産業ユニオン千葉支部の吉村さんが、日本郵便を相手どった2年半の解雇撤回闘争を経て、1月18日に職場復帰しました。先立つ15日には、千葉市内で当該労組はじめ多くの仲間たちが参加し、「解雇撤回闘争勝利&職場復帰を祝う会」が開催されました。

吉村さんは千葉中央郵便局で18年以上、半年有期の時給制契約社員として最高ランクのスキル評価を得て勤めてきましたが、13年7月に仕事上の口論から同僚に暴力をふるったという理由で停職2ヶ月の懲戒処分を受けたうえに、9月には雇い止めをされました。

吉村さんと郵政産業ユニオンは「非正規労働者への根深い差別による不当解雇」だと、千葉地裁に訴訟を起こす一方、地域の労組とともに「吉村さんを職場に戻す会」を結成。昨年6月に千葉地裁は「懲戒処分は権利濫用、雇い止めは無効」として、社員としての地位を認め、会社に賃金支払を命じる吉村さん完全勝利の判決を下しました。

会社は東京高裁に控訴したものの、12月22日に「雇い止めを取り消し、2ヶ月の懲戒停職も減給処分に訂正する」との労使合意に達し、完全勝利の和解が成立したものです。

この間、職場の圧倒的多数の非正規社員が「吉村さんの中傷する会社の偽証を暴き」「暴力事件の背景に人減らしで余裕がない職場実態がある」と陳述書を寄せてくれました。



中丸弁護士と握手する吉村さん(右)

労働者の賃上げが重要

新春大企業宣伝



千葉駅での宣伝

千葉労連は年明けの1月6日に千葉駅前、13日に海浜幕張駅前それぞれ宣伝行動を行いました。

最初に松本議長が「安倍政権が強行成立させた戦争法を何としても廃止させる必要がある。懲りずに進めようとしているアベノミクス新三本の矢も、大企業・大金持ち優遇で庶民には何の恩恵もない。日本を海外で戦争のできる国にすることを許さず、景気回復のためにも、2016年春闘で労働者の大幅賃上げを獲得しましょう」と訴えました。

その後、各団体の代表者がマイクを握り、職場の状況報告や今春闘に向けての決意を訴えました。

二つの宣伝行動には延べ41人が参加し、チラシとテ

ィッシュを合わせて1000枚配布しました。

チラシを受け取り対話した通行人からは「生活は全然よくなる。労働者の賃金を上げることが重要だと思う」という声が寄せられました。